

2021年1月3日第1主日

Chofu Christ Church

礼拝式次第

注) 賛美の最後の頌栄以外のアーメンは省く

前奏		
頌栄	新聖歌 60	起立
使徒信条	司会者朗読	起立
主の祈り	司会者朗読	起立
開会祈祷		
賛美	新聖歌 1	
交読	省略	
今月の賛美	省略	
今週の聖句	省略	

1月誕生者祝福

聖書 ルツ記2:1~7 (p377)
 説教 「新年は出会いのチャンス」
 園 謙慈 牧師

一斉祈祷

献金	新聖歌 311	
感謝祈祷		
頌栄	新聖歌 63	起立
祝祷		起立
後奏		起立

報告

●来週のメッセージ

- 【聖書】 ルツ記3:1~5 (p378)
- 【主題】 「積極的行動の決断」
- 【説教】 園 謙慈 牧師
- 【新聖歌】 2 256

今週の聖句

《はからずも…》

「ルツは行って、刈る人たちのあとに従い、畑で落ち穂を拾ったが、彼女ははからずもエリメレクの一族であるボアズの畑の部分にきた。」

ルツ記 2章3節

- 本日の礼拝後の予定
 - 各部会 —
 - 会堂清掃 礼拝後

- 今週の予定
 - ◎聖書通読 4日(月)~10日(日) 申命記12-18章

- ※牧師休暇 4日(月)~6日(水)
- 祈祷会 7日(木) 13:45

- 1/10日(日)の予定
 - 主日祈祷 10:00 賛美タイム —
 - 主日礼拝式 11:00
 - 新会堂ビジョン祈り会 礼拝後
 - 会堂清掃 礼拝後

礼拝式説教要約 【コロナ禍でも神への感謝を】 詩篇103:1~8

この1年を振り返りつつ主から受けた恵みを分かち合いたいと思う。

詩篇103篇はダビデの感謝の詩。感謝は礼拝の重要な要素。感謝の心は神の恵みを理解し体験している表れ。主題は「人間のはかなさと素晴らしい神の偉大さ」である。この詩篇では主の恵みを振り返ることを繰り返し勧める。それは第1に、私たちが忘れやすいから。過去の恵みを忘れるので、現在の課題に右往左往してしまう。第2に、歩いて来た道を振り返ることは、主への信頼を深めるから。主の愛や配慮を思い起こすと、神の方法に驚かされる。嬉しかったこと、感謝だったことをピックアップしよう。逆に、辛かったことや、悲しかったこと、苦しかったことも思い出そう。マイナスと思えた経験の中に主の大きな恵みが隠されている。「たましい」と訳されるへブル語は元々「喉」…人の「息」や「いのち」を指すようになった。さらに人間の感情を司る器官としても理解された。「ヤハウエ(主)」という名は、特別な名前。次の「聖なる御名」とは、比較できない優れた御名のことを指す。

「主の良くしてくださったこと」「利益」「神の恵み」の中身を見ていく。※ダビデは六つの項目を思い出して主を賛美した。

(1) 咎を赦されたこと…私たちの罪が

赦されることは、最大の恵みである。

(2) 病を癒されたこと…私たちは今年、病苦をした。でも、主がいやしてくださった。元気になっても、そのいやしに感謝しよう。

(3) 穴から救い出されたこと…大きな試練や問題や悩みを経験したが、その苦悩から救い出された。

(4) 恵みとあわれみの冠を受けたこと…躍り上がるほど嬉しかった、主の恵みとあわれみを受けた瞬間もあった。誉れや栄光の瞬間もあっただろう。

(5) 一生を良いもので満たして頂いたこと…人と比較して幸せを感じるのは不健全。生まれて来て良かったという実感。私の人生は満足だと、主に感謝。

(6) 新しくされたこと…私たちが疲れ果て弱り切ったとしても、人生をやり直す意欲や、困難に立ち向かう勇気が与えられる。

◎今年、どんなことを感謝してきたのか。年の終わりに主をほめたたえよう。